

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	計画の推進に向けた考え方	歴史的遺産と共生するまちづくり
------------	--------------	-----------------

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	22.0%	平成27年度	21.2%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

お金の使い方				お金の使い方				
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない		使いすぎ	ちょうどよい	足りない	
仕事の効果	必要以上の効果	6.6%	0.5%	0.0%	必要以上の効果	4.7%	1.1%	0.3%
	ちょうどよい	1.2%	37.7%	1.6%	ちょうどよい	2.3%	39.8%	1.1%
	効果不十分	9.5%	4.3%	10.2%	効果不十分	8.3%	4.4%	9.4%

平成26年度

平成27年度

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

<妥当性の分析>

お金の使い方、仕事の効果ともに、平成26年度、27年度とも約4割近くが「ちょうどよい」と回答しており、選択肢の中では最も多くなっている。

仕事の効果が「不十分」と回答している人の中では、お金の使い方が「足りない」と回答している人が最も多くなっており、もっとお金をかけて効果を出すべきと考える人も1割程度いることが分かる。

お金の使い方に対し、「使いすぎ」と答えた人は17.3%から15.3%に微減となり、「ちょうどよい」と答えた人は42.5%から45.3%へ微増している。今後とも事業の内容や意義について、積極的に発信していきたい。

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	17.5%	36.5%	17.6%	28.4%	100.0%
平成27年度	19.6%	38.2%	15.0%	27.2%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

比較研究事業や普及啓発事業などの神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会の事業を進め、「鎌倉」の価値の再認識及び再発見に取り組むとともに、再推薦・登録に向けた市民等の機運の醸成を図る。

まちづくり行政と文化財保護行政の考え方を兼ね備えた「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく、歴史的風致維持向上計画の策定作業を行う。平成27年度中に本計画が認定されるように取組を進める。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
整理番号	事業名	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
歴史-01	世界遺産条約登録事業	7,612	6,678	22,622	33,467	2.0	3.5	b	B
歴史-02	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業	1,581	4,364	16,951	19,672	2.0	2.0	b	B

(3) 主な実施内容

**【主な実施内容】**

神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、比較研究等の再推薦・登録に向けた下記の取組を実施した。(歴史-01)

- ・国内外現地比較研究調査の実施(国外3回、国内7回)
- ・「鎌倉」文化遺産比較研究委員会開催(2回)
- ・連続講座の実施(3回)
- ・講演会の実施(1回)

鎌倉市歴史的風致維持向上計画を平成27年12月に策定し、平成28年1月に文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣の認定を受けた。(歴史-02)

日本遺産の認定に向けて、ストーリー、事業計画等の作成を行い、平成28年2月に文化庁へ申請書を提出した。

**【実施できなかった事業とその理由等】**

**(4) 平成27年度の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当（適切）な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない（適切な）取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

**<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>**

神奈川県、横浜市、逗子市と連携し、世界遺産の再推薦・登録に向け、比較研究や周知啓発の取組を着実に進めた。鎌倉市歴史的風致維持向上計画を策定し、国から認定を受けた。  
年度途中で急遽取り組むことになった日本遺産の認定に向け、他の仕事をやりくりしながら、申請書の提出を行った。

**3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性**

第3期基本計画では、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を計画を推進するための考え方として位置付けている。歴史まちづくり推進担当の事業だけではなく、市の施策全体に「歴史的遺産と共生するまちづくり」の考え方を反映させていく必要がある。また、個別の事業についても、事業自体の必要性を理解して頂けるよう、事業の成果などを市民周知を図る必要がある。

**4 平成28年度の目標**

比較研究事業や普及啓発事業などの神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会の事業を進め、「鎌倉」の価値の再認識及び再発見に取り組むとともに、再推薦・登録に向けた市民等の機運の醸成を図る。  
鎌倉市歴史的風致維持向上計画を推進するため、構成事業の着実な実施に取り組むとともに、来年度以降の事業の見通しを明確にしていく。  
平成28年度の日本遺産に認定されたことを受け、関係団体と協議会を設立し、「歴史的遺産と共生するまちづくり」の一環として、日本遺産魅力発信推進事業の推進に努める。

**5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)**

<b>整理番号</b>	歴史-01	<b>事業名</b>	世界遺産条約登録事業					<b>単位</b>	%	<b>指標の傾向</b>		<b>備考</b>
<b>指標の内容</b>	新たなコンセプトの確立に資する比較研究成果の獲得											
<b>当該指標を設定した理由</b>	<b>年次</b>	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究において成果を得ることが、新たなコンセプトを確立するための重要なステップとなるため。	<b>目標値</b>	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
	<b>実績値</b>	30.0	60.0									
	<b>達成率</b>	100.0%	100.0%									
<b>整理番号</b>	歴史-01	<b>事業名</b>	世界遺産条約登録事業					<b>単位</b>	回	<b>指標の傾向</b>		<b>備考</b>
<b>指標の内容</b>	講演会等の実施回数											
<b>当該指標を設定した理由</b>	<b>年次</b>	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
比較研究において得られた成果を含め、「鎌倉」の価値や魅力について公表する有力なツールであるため。	<b>目標値</b>	1	1	1	1	1	1					
	<b>実績値</b>	1	4									
	<b>達成率</b>	100.0%	400.0%									
<b>整理番号</b>	歴史-02	<b>事業名</b>	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業					<b>単位</b>	%	<b>指標の傾向</b>		<b>備考</b>
<b>指標の内容</b>	計画に登載した構成事業の進捗率											
<b>当該指標を設定した理由</b>	<b>年次</b>	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
構成事業を確実に実施することで、歴史的風致の維持向上を図るため。	<b>目標値</b>	-	-	10.0	20.0	30.0	40.0					
	<b>実績値</b>											
	<b>達成率</b>											
<b>整理番号</b>	歴史-02	<b>事業名</b>	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業					<b>単位</b>	件	<b>指標の傾向</b>		<b>備考</b>
<b>指標の内容</b>	歴史的風致形成建造物の指定											
<b>当該指標を設定した理由</b>	<b>年次</b>	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
歴史的風致形成建造物を指定することで、歴史的風致の維持向上に資するため。	<b>目標値</b>	-	-	1	1	1	1					
	<b>実績値</b>											
	<b>達成率</b>											

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘

・施策の意図や実際の研究等の活動は今後もずっと重要だと考える。一方、世界遺産登録を目指すことに関しては、その必要性があるのか。これまでの経緯ふくめ、市民として疑問に感じることは非常に多い。

・「歴史的遺産と共生するまちづくりの視点に立った基本計画」の内容や具体的目標について、もっと市民に分かりやすい説明・周知を行ってほしい。

・歴史文化交流センターは閑静な住宅地内に立地することから、その周辺環境への配慮は必要であるものの、鎌倉の文化情報を発信する施設として、興味をひく魅力的な施設である必要があると考える。

・学習をしにくる小学生中高生が、鎌倉の歴史文化に、多いに興味をもち、「鎌倉時代」に思いをはせることができるようなコンテンツを考えることも必要である。



指摘への対応、コメント等

4県市委員会で実施している比較研究調査の成果を積極的に発信していくことで、鎌倉の文化財の価値や魅力、世界遺産登録の意義などの周知に努めていく。

「歴史的遺産と共生するまちづくり」の視点に立った具体的な施策を提示していくことで、市民への周知を図る。

(仮称)鎌倉歴史文化交流センターは平成29年4月開館を予定している。開館後は周辺環境への影響を見極めながら、館の運営を行っていく。  
また、鎌倉の歴史・文化を発信する施設としてよりよい展示ができるよう、開館に向けて準備を進めていく。

(仮称)鎌倉歴史文化交流センターにおいては、鎌倉を訪れる小中高生が鎌倉の歴史・文化を学べるよう、展示内容を工夫していく。

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 《評価できるところ》

- ・比較研究事業や普及啓発事業などの神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会の事業を進め、再推薦・登録に向けた市民等の機運の醸成を図った。
- ・日本遺産の認定を受けた。
- ・歴史的遺産と共生するまちづくりを推進するため、歴史的風致維持向上計画を策定した。

		評価の内訳								委員会の評価	
取組	↗	0	↘	0	→	8	⇒			→	
効果	○	0	△	1	-	7			-		

### 《課題》

- ・『市の施策全体に「歴史的遺産と共生するまちづくり」の考え方を反映させていく必要がある』という考えには大いに賛同できるが、その考えに基づく事業が世界遺産条約登録に尽きるのでは問題である。
- ・今後の方向性として「事業の成果などについて市民周知を図る必要がある。」としているが、事業の成果が何であるのかが分からない。
- ・「歴史的遺産と共生するまちづくり」に対して、何をどうするためにどんな事業を行い、その結果どのような効果や改善が図られたのかが分からない。

### 《提言》

- ・世界遺産に登録されることで歴史的遺産を守るのではなく、市民自治と連携を図り、市民意識、理解の醸成にそれらを育てる方が先である。市民が鎌倉の素晴らしさを認識するような事業を展開すべきである。
- ・世界遺産登録をめざすことは構わないが、それを目的にするのではなく、鎌倉らしい歴史的遺産との共生を明示し、それに向けた施策展開を図っていただきたい。
- ・世界遺産の再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究による成果を得ることが、新たなコンセプトの確立に求められる。
- ・研究などは、世界遺産登録とは切り離しても進めるべき大切な取組である。
- ・鎌倉の古都としての歴史と、近代的な都市形成とがマッチングしている点を高く評価し、世界に情報発信していくべきである。
- ・方針が「歴史的遺産と共生するまちづくり」ということで、様々な分野と一体になって進められていくことを期待している。
- ・自然・歴史的遺産を保持しつつ新しい歴史・文化が創造されるまちであってほしい。
- ・指標について、長期に亘ってその効果が明確に確認できるものを設定すべきである。